



過去の関連記事はこちら



©さいたまアリーナ

さいたま市誕生20周年

拠点づくり

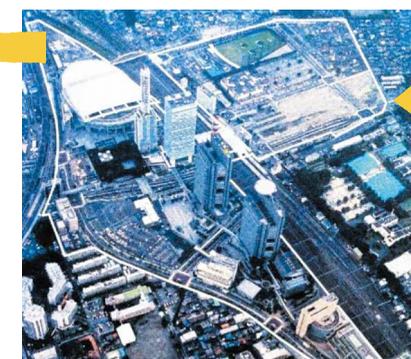


まちづくりの軌跡

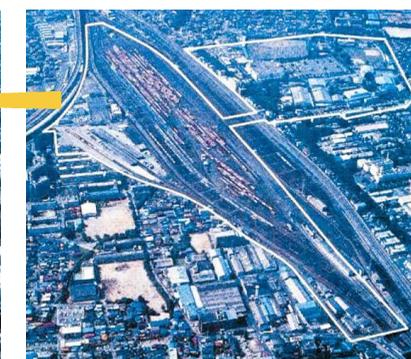
平成13年5月に浦和市、大宮市、与野市の3市合併により、さいたま市が誕生。その後、平成17年4月の岩槻市との合併を経て、現在のさいたま市の形になりました。今号では、20年間で大きく進化を遂げたさいたま市のまちづくりの軌跡を振り返ります。

さいたま新都心

首都機能の一翼を担い、自立性の高い中枢都市圏の形成を図るという目標を掲げて、さいたま新都心がまちびらきしたのは、平成12年のことです。さいたま市のほぼ中央に位置する旧国鉄大宮操車場跡地には、さいたま新都心駅を中心に「さいたまスーパーアリーナ」や「けやきひろば」などの公共空間、国の機関、オフィスビル、ホテル、大型複合商業施設、病院などの多くの都市機能が集積。にぎやかで魅力ある空間を目指したまちづくりが進められ、発展してきました。



まちびらき当時（平成12年）



区画整理前（昭和61年）

さいたま新都心のまちづくり 5つのテーマ

関連ページはこちら



1 theme バリアフリーのまち

全国初の「バリアフリー都市宣言」

新都心を訪れるすべての人にとって安全安心な環境を整備。けやきひろば1階の「さいたま新都心ふれあいプラザ」ではバリアフリー疑似体験イベントなど、さまざまな活動を実施しています。



2 theme 地球にやさしいまち

エネルギーや地球資源を有効活用

さいたまスーパーアリーナでは、屋根の上の巨大な太陽光発電パネルが生み出した電力を施設に使用。また、使われた水をきれいにしてトイレで再利用するなど、エネルギーや地球資源の有効活用に取り組んでいます。



3 theme 景観の美しいまち

けやきがつくる自然空間

さいたまスーパーアリーナの前には、「けやきひろば」を整備。駅につながる2階部分のデッキ上に220本のけやきが一面に立ち並び、都市と自然が融合した魅力的な空間をつくり出しています。



4 theme 災害に強い、安全のまち

公園をまちの防災拠点に

大地震などが発生したときの避難場所として「さいたま新都心公園」を整備。仮設テントになる防災バーゴラ、ソーラー照明やマンホールトイレなどの防災機能を備えています。



5 theme 情報が行き交うまち

大型映像装置で情報発信

駅の改札正面に設置された大型映像装置は、まちを訪れる人にもやさしい情報提供システム。地域やイベントの情報発信、民間広告などに利用されています。



大きな画面で分かりやすく情報発信！



さいたま新都心エリアマネジメント

まちびらき当初と比べて、まちの利用者や社会・経済情勢は大きく変化しています。こうした変化を見据えながら、発展的にまちの価値を高め、「選ばれるまち」としての持続力と競争力を備えていくために、令和3年3月に「一般社団法人さいたま新都心エリアマネジメント」が設立され、さいたま新都心で本格的なエリアマネジメントの取組が始まりました。

3つの目標像



国内外を視野に捉える 先進技術を応用する “新都心”発に挑戦する
まちを“丸ごと”使う にぎわいをつなげる 面白さをデザインする
安心安全を徹底する 美観を大切にす 参加性を大事にする

「一般社団法人さいたま新都心エリアマネジメント」の詳細はこちら

